

小学校 2年

あったらいいな！こんなロボット！！

高槻市立北大冠小学校

教科

国語

単元名

ロボット

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・文章中の重要な語や文を考えて選ぶ。
- ・読書に親しみ、本を読んでわかったことを説明する。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・複数の情報から、わかったことをまとめる。
- ・抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる。

本単元で育む主な情報活用能力

D-STEP1, H-STEP1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全9時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (2時間)	○学習の見通しを持つ。 ・自分が調べたロボットを説明するために、「大事な言葉に気を付けて読み、分かったことを知らせる」という単元のめあてを確認し、学習計画をつかむ。 ○「ロボット」を読み、内容の大体を把握する。 ・文章の構成、ロボットの定義、問いの文などを確認する。
第2次 (3時間)	○「荷物を家に届けてくれるロボット」の役割と機能について確認する。 ○「水族館のような施設で、案内してくれるロボット」の役割と機能について確認する。 ○「空を飛んで、危ない場所の様子を見に行ってくれるロボット」の役割と機能について確認する。
第3次 (4時間)	○ロボットに関する図書資料を読んで、いいなと思ったロボットを伝え合う。 ○ロボットに関する図書資料を読んで、他にあったらよいと思うロボットを考え、紹介したいロボットを決める。(☆) ○紹介したいロボットについて発表するための準備をする。(☆)【本時】 ○調べたロボットについて、発表会を行い、学習を振り返る。(☆)

本時のねらい

- ・あったらいいなと思うロボットを考え、伝え合う。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 本時のめあてを確認する。 めあて：あったらいいなと思うロボットを考えよう ・ワークシートの書き方を確認する。	・ロボットに関する図書資料を用意しておく。
展開 (35分)	2. あったらいいなと思うロボットを説明するため、以下の内容について、文章を書く。 ・たすけてくれるところ ・かっこいいところ・できること ・どうしてこのロボットがあったらいいと思ったのか。 3. 班で紹介しあい、ロボットのよさが伝わる文章を考える。	・図書資料に出てくるロボットの説明の文をヒントに文章を書いてもらい、よいことを伝える。 ・思い浮かばない児童に対しては、ペアや班で協力して行うようにする。 ・図書資料で紹介されているロボットよりレベルアップしているか、もっといいロボットになる方法を考えさせる。
まとめ (5分)	4. ワークシートを完成させる。	・次の時間では、発表会を行い、交流することを伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・様々な場面でロボットが活躍しているということを知るため、ロボットに関する図書資料をたくさん用意した。
- ・「もっとこんなロボットがあったらいいな」、「こんなことができればいいな」ということを考えるために、掃除や介護など生活を助けるロボットの本を紹介したり、お家の人や自分の困っていることを考えたりした。



授業で使った本の例

- ・本田幸夫『ロボットのずかん』金の星社
- ・佐藤知正『ロボット大図鑑 1～5』ポプラ社
- ・岡田博元『ここがすごい！ロボット図鑑 1』あかね書房
- ・古田貴之『未来が広がる最新ロボット技術 1～3』汐文社

ロボットを考えている様子